

1. 基本情報

- (1) 国名：モザンビーク共和国
- (2) プロジェクトサイト／対象地域名：ニアッサ州
- (3) 案件名：ニアッサ州地方給水施設建設計画（The Project for Construction of Rural Water Supply Facility in Niassa Province）
- (4) 計画の要約：ニアッサ州において給水施設・設備を整備することにより、安全な水へのアクセス改善を図り、もってナカラ回廊住民の生活環境の向上に寄与することを目的とする。

2. 計画の背景と必要性

- (1) 本計画を実施する外交的意義

モザンビークはインド洋に面するアフリカ南東部の玄関口であり、国際場裏における友好国であることに加え、2017 年 8 月には、我が国が 1993 年以来主導しているアフリカ開発会議（TICAD）の閣僚会合を同国にて開催しており、我が国との良好な二国間関係を強化する意義は大きい。

本計画が対象としているニアッサ州は、TICAD VI で我が国が表明した総合広域開発の三重点地域の一つであるナカラ回廊に位置している。また、モザンビークは、一人あたり GNI は 480 ドル（2016 年世銀）と低く、後発開発途上国（LDC）に位置づけられており、我が国が、同国の社会・人間開発に向けた取組を後押しすることは、TICAD プロセスを通じて表明してきた平和と安定及び貧困削減に整合するものであり、重要性は高い。

- (2) 当該国における給水セクターの開発の現状・課題及び本計画の位置付け

同国政府は、「国家村落給水・衛生プログラム（PRONASAR：2010 年～2015 年）」を策定し、全国給水率の達成目標（2015 年：70%）を掲げていたが、56 %と目標値に及ばず（2015 年、国家水衛生局）、特に、都市部（84%）と比べて、地方部の給水率は 42%と低い水準に留まっていることから、地方部における給水率の改善が喫緊の課題となっている。

ニアッサ州は、天然資源や農業のポテンシャルに恵まれており、近年の開発により人口の増加が進んでいるが、人口増加に伴う給水需要の高まりに対し、給水施設の整備は進んでおらず、同州の給水率は、37%と全国で最も低く、政府の重点地域に選定されている（2015 年、国家水衛生局）。背景には、給水施設の建設資金の不足といった財政面の課題、施設の運営・維持管理能力の不足といった技術面の課題が存在しており、このうち、技術面の課題に対し、JICA は、技術協力「ニアッサ州持続的村落給水・衛生改善プロジェクト」（2013 年 3 月～2017 年 2 月）を通じて、村落部におけるハンドポンプ付深井戸（レベル 1 給水施設）の運営・維持管理体制の構築を支援した。今後は、他ドナーとの協調の上、ハンドポンプ付深井戸に加え、小中規模都市の管路給水施設（レベル 2 給水施設）における運営・維持管理体制の構築を支援する計画であり、本計画は、これらの協力によって構築される運営・維持管理体制を活用し、給水施設の建設を進めるものであり、同国政府五か年計画において、優先度の高

い事業に位置付けられている。

3. 計画概要

(1) 計画概要

① 計画内容

ア) 施設、機材等の内容：管路給水施設（5 基）及び付帯設備（取水施設、配水池、配水施設、共同水栓、配水管等）、ハンドポンプ付深井戸（注）の建設。

（注）ハンドポンプ付深井戸は、州政府の運営・管理や JICA の案件監理が適切に行える規模（建設数）を想定。

イ) ソフトコンポーネント：コンサルティング・サービス（詳細設計、入札補助、施工・調達監理等、給水施設の運営・維持管理に係る能力強化）

② 期待される開発効果

改善された水源を継続して利用できる人口の増加、衛生的な飲料水の供給による水因性疾患の減少、ナカラ回廊の地域住民の生活環境の向上。

③ 計画実施機関／実施体制：ニアッサ州公共事業・住宅・水資源局、公共事業・住宅・水資源省給水・衛生・インフラ管理局。

④ 他機関との連携・役割分担：ニアッサ州では、アイルランドや NGO（WaterAid）が給水分野で活動し、モザンビーク政府の下、ドナー間の役割分担が進められている。

⑤ 運営／維持管理体制：ニアッサ州公共事業・住宅・水資源局が、州の給水施設の運営・維持管理等を総合的に管理している。

(2) その他特記事項

- 環境社会配慮カテゴリ分類：カテゴリ B（国際協力機構環境社会配慮ガイドライン（2010 年 4 月公布）に掲げる上水道セクターのうち、大規模なものに該当せず、環境への望ましくない影響は重大でないと判断され、かつ同ガイドラインに掲げる影響を及ぼしやすい特性及び影響を受けやすい地域に該当しないため）
- ジェンダー分類：ジェンダー活動統合案件。本計画による女性や子供の水汲み労働の軽減が考えられる。

4. 過去の類似案件の教訓と本計画への適用

ザンビア共和国向け無償資金協力「北部州地下水開発計画」の事後評価（2011 年）等では、住民からの料金徴収が十分でなく、事業で整備した施設・機材（ハンドポンプ等）の維持管理状況に問題があった点が指摘されている。本計画においては、技術協力「ニアッサ州持続的村落給水・衛生改善プロジェクト」（2013 年～2017 年）で構築したハンドポンプ付深井戸の運営・維持管理モデルを活用するとともに、管路給水施設の運営・維持管理については、現在準備中の技術協力「ニアッサ州持続的給水システム及び衛生促進プロジェクト」を通じて支援する地方政府（市、郡）や民間業者を主体とする運営・維持管理体制を活用すべく、実施機関と協議し、事業計画に反映する。

以 上

〔別添資料〕地図

別添

ニアッサ州地方給水施設建設計画 地図

